



保育士さんの笑顔がみんなのやる気に！



藤岡 緑 議員

子育て支援の充実に向けて

問 女性就業率の増加と共に0から2歳児保育が増加し、保育士数や設備の関係で以下のような問題が生じている。町の考えを問う。

答 大政保健福祉部長

① 待機児童ゼロ対策

ここ数年、年度途中に待機児童が発生している。現在、町立保育所では特別な配慮を要する子どもへの対応と担任保育士の負担軽減のため、県条

例で定める必要な保育士数を超えて保育士を配置している。学校や幼稚園で実施している学校生活支援員を保育所にも配置できないか検討中だ。これにより配慮を要する子どもに対応していた保育士を通常の保育業務に当てることで子どもの受入数を拡大し待機児童の解消を図る。

② 保育士確保に向けて現在行われている対策と

しては以下の通り。

- ・賃金の引き上げや有給休暇の拡充など勤務条件面の改善
- ・保育関係者交流セミナー」にブースを出展し、学生や潜在保育士らに職員採用試験への応募の呼びかけをする。
- ・乳幼児を持つ保育士が町内で働く場合の町内保育所への優先的入所の方策の検討。保育士養成機関の保育実習や中学校の

療費の一部負担なども、子ども食堂の実施で、貧困による子供だけの食事をなくし、町内の幼児や小学生を対象に食事や学習、遊びの支援を社協や地域ボランティアが中心に行う事業もある。

職場体験学習、伊予高生の保育所ボランティア活動受入れを積極的に行うなど、保育士を職業とする選択を契機にと期待している。

今後も先進地の視察研修内容なども参考に検討していきたい。

更に第二期松前町子ども子育て支援事業計画の策定に向け保育サービスのニーズ調査を行い、保育需要を把握した上で保育士確保を進めていく。

子どもの貧困対策全般と行政の役割は

問 子どもの貧困対策として行政の役割について問う。

答 大政保健福祉部長

① 町の支援は

生活の支援として、放課後児童クラブの設置促進子育て支援として実施している「こんにちは赤ちゃん事業」を通して子

どもや保護者に支援が必要とする場合、母子保護事業と連携し継続して家庭訪問や育児相談を行っている。支援の必要な子どもの早期発見と適切な対応に努めている。

経済的支援として一人親家庭への特別な配慮として放課後児童クラブの保護者負担金の軽減や医

答 本馬教育長

② 教育の支援から学校現場で基本的な生

活習慣を身に付けさせ、学習の遅れのある児童生徒への学習支援をする。進学や就職支援を充実させ貧困家庭の子どもの教育の機会均等を図っていききたい。